



長崎看護学 同窓会便り No.6

平成 22 年 11 月 23 日発行
連絡先
電話・FAX 095-819-7947
同窓会事務局 浦田

会長あいさつ

会長：下田 澄江

今年の夏は、異常気象の影響で猛暑・洪水・熱中症に関するニュースが多く心配されましたが、秋分の日を境に一気に秋の便りが届くようになりました。

長崎看護学同窓会員の皆様におかれましてはお健やかにお過ごしのことと思います。同窓会も今年で 107 年目となり、会員数も 3400 名をこえるようになりました。平成 22 年 3 月には保健学科看護学専攻 5 回生が卒業、大学院保健学専攻（修士課程）も 3 回生が修了され日本各地でご活躍されております。

さて 22 年度 100 年記念事業「看護学研究奨励賞」には 4 名の方に応募いただき、選考委員会で 4 名の方が受賞されることに決定しました。また昨年度までに受賞された方の研究成果については総会後に開催される研究発表会でご報告していただきます。今後も研究奨励賞をさらに魅力あるものとして多くの会員に周知をはかり、事業が母校の発展に少しでも寄与できるようにしていきたいと考えております。

同窓会便りも今年は No.6 として母校の状況や会員の様子をできるだけ多く皆様にお伝えできるようにと編集担当者が工夫してくれました。長崎を遠く離れてご活躍されている会員の皆様や地元でいつもご支援いただいている方などの積極的な投稿もお待ちしています。

長崎看護学同窓会は毎年 80 名近くの新入会員をお迎えしていますが、「継承そして発展」のために同窓会事業を推進していくにあたっては会員相互の連携を強化していく必要があります、その一手段として同窓会のホームページ設立について総会でおはかりしたいと思っています。また理事をお引き受けいただける方が少なく、役員の方々には永年ご貢献いただき感謝しているところですが、さらに多くの皆様に一度は理事として運営にかかわっていただき、ご支援をいただければ有難く思います。

11 月 23 日の総会には多くの会員の皆様にご参加いただき、相互の親睦を深めていただきたいと思います。皆様にお逢いできることを楽しみにしております。

<同窓会員数>

総数	3,405 名
養成所	327 名
厚生女学部	152 名
看護学校	1,338 名
医療短大	1,201 名
保健学科	328 名
修士課程	9 名

物故者ご氏名

平成 21 年度にお知らせ頂いた方を掲載しております。

養成所 23 期生	山本 照子様 (旧姓：大川内)	H.22.4.9
厚生女学部 2 回生	吉見タツ子様 (旧姓：森北)	H.21.11.20
看護学校 4 回生	相良美佐子様 (旧姓：小出)	H.22.9.3
看護学校 22 回生	関 初子様 (旧姓：小林)	H.22.9.25



平成21年度庶務報告・会計報告

1. 平成21年度同窓会入会者 72名

平成22年度同窓会入会者 83名

2. 経過報告

1) 同窓会総会 H.21.11.23

「久松シソノ名誉会長を偲ぶ会」開催

2) 理事会開催 4回

3) 慶弔 ・3月 医学部保健学科卒業式：生花寄贈

・原爆慰霊祭に下田会長献花：生花寄贈

・物故者へ弔電

4) 看護学研究奨励賞運営

5) 看護学同窓会便り発行

募金のお願い

平成18年度の総会にて同窓会終身会費の値上げが承認され、19年度卒業生から5千円を納入して頂いております。

既会員の皆様には差額の3千円を募金の形でご協力頂ければ幸甚に存じます。

21年度は、合計491,000円の募金をお寄せ頂きました。心より感謝申し上げます。

【振込先】郵便局 記号 17680

番号 22216361

加入者名 看護学同窓会

代表 下田澄江

長崎看護学研究奨励賞

平成22年度看護学研究奨励賞受賞者ならびに次年度募集について

看護学研究奨励賞は6年目を迎えます。皆さまのご支援により、本年は長崎大学医学部保健学科と長崎大学病院より計4題の応募がありました。選定委員会では、内容が年々充実してきているとの意見もいただき、4題すべて採用となりました。今年の総会では、授賞式とともにこれまでに授賞された3題の研究発表も予定していますので、ぜひご出席下さい。

〈本年度受賞の研究課題〉

①臨床看護倫理国際比較調査票 VersionⅡによる比較文化的研究

山口 智美（長崎大学医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座）

②特定機能病院における認知症高齢者の看護の実態

小淵 美樹子（長崎大学病院）

③看護師の急変対応自己評価尺度の作成と妥当性の検証

永富 礼二（長崎大学病院）

④精神科に通院する子どもをもつ母親の体験と思い

高田 沙織（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科修士課程）

〈総会での発表予定演題〉

①化学療法を継続する壮年期肺がん患者の治療にかける思い

村上 香織（長崎大学病院）

②「3回の流産・死産・新生児死亡を経験した両親が新たな妊娠・出産を受け入れていく心理過程の分析」

赤星 衣美（長崎大学病院）

③急性呼吸不全患者への非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）継続のための看護師の臨床判断に関する研究

村田 洋章（東京慈恵会医科大学医学部看護学科）

☆ 次年度の募集も例年通り行いますので、ご応募いただきますようご案内申し上げます。応募期限は平成23年6月20日～23年7月20日の予定です。

応募要領、申請書など詳細については下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：勝野久美子（長崎北病院 Tel:095-886-8700

e-mail : kita_k_katsuno@shunkaikai.jp)

卒業生便り

保健学科 3回生 本多敦美

(勤務先：長崎地域包括支援センター)

私は長崎市片淵・長崎地域包括支援センターで保健師として働いています。地域包括支援センターは65歳以上の介護や福祉の相談窓口です。センターでは主任介護支援専門員、社会福祉士など多職種で連携を図りながら、相談に対応しています。高齢者福祉にかかわる様々な相談がありますが、私が主に担当しているのは介護保険に移行する可能性のある虚弱高齢者への働きかけです。多くは家庭を訪問して対応するため、様々な家庭、生き方があることを日々実感しています。関わっている方の大半は高齢者で人生の大先輩なので、学ぶことも多く充実した日々を送っています。住民にとって気軽に声をかけてもらえる身近な存在を目指し、これからも頑張っていきたいです。

保健学科 1回生 高村恵理子

(勤務先：長崎大学病院)

長崎大学病院に看護師として就職して、早5年目に突入しました。

集中治療部、呼吸器内科、形成外科と多くの患者さんと接してきました。

どの仕事もそうですが、看護師は精神的にも身体的にもきつく、責任を求められる仕事なので大変ではあります。その分、人と人との付き合いが密であり、楽しいこと、悲しいこと、多くのことを学ぶことができます。紆余曲折、日々落ち込むことも多いですが、多くの仲間と共に日々精進していきたいと思っています。

保健学科看護学専攻4回生の進路

<保健学科看護学専攻4回生の進路>

平成22年3月、看護学専攻5回生79名が卒業し、県内外の保健医療機関に73名が就職しました。主な地域は長崎県内に27名、九州地区23名、関東地区21名、近畿地区2名でした。職種は5名が保健師、助産師は8名、58名が看護師として採用されました。

<長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻(修士課程)3回生修了>

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻(修士課程)は平成18年4月に開学し、看護学講座では22年3月に3回生4名の修了生を送り出しました。看護の質の向上を目指し、臨床、教育の現場でのご活躍を期待します。

<長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻(修士課程)の専門看護師コース>

平成22年度からがん専門看護師および放射線専門看護師コースを開設し、放射線看護コースに2名が入学しました。現在、(社)日本看護協会より認定されている専門看護師はがん看護、精神看護、地域看護など11分野があり、放射線コースはまだ認定されてはいません。しかし、被爆県長崎において放射線専門看護師の養成は地域医療等社会的ニーズに対応したプログラムであり、長崎ブランドと考えます。他大学とも情報交換等を行いながら、申請できるように実績を積んで参りたいと思います。22年度は残念ながらがん看護コースには入学者がおりませんでした。長崎県はがんの死亡率は全国平均を大きく上回っており、がん医療を担う専門職の養成は重要です。今後も入学者の獲得に努力して参りますが、多くの方に本コースをお知らせ頂き、入学していただきたいと思います。願っております。

今後とも保健学科、大学院の教育・研究にご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(文責：浦田秀子)

新外来紹介

平成22年7月に新外来がリニューアルオープンしました。すでに第2期工事が始まっており、外来全館が完成するのは平成24年4月の予定です。

新外来棟の特徴と新しい診療体制

患者さんと医療スタッフの動線の分離や、最新の医療機器の導入などにより診療も向上することで、患者さんの負担をなるべく少なくし、早い段階での検査などが可能になります。

患者さんの負担軽減

外来を集約化した、中央採血室や検尿を1Fにします。
低層部には整形外科・形成外科などを配置し負担軽減を図ります。

診療体制の強化

呼吸器内科と呼吸器外科など臓器別に同じフロアに配置することで診療体制を強化します。

プライバシーの保護

従来、大部屋であった耳鼻咽喉科・眼科・産科婦人科等の診療室を個室化し患者さんのプライバシーの保護が確立されるようになります。

超音波検査室（エコー）の設置



診療科で独自に行っていた超音波検査（エコー）を1か所に集約して医療効率をアップするようにしています。

最新の医療機器



最新の医療機器を導入し待ち時間の短縮に努めます。（PET/CT、リニアック等）

省エネ対策

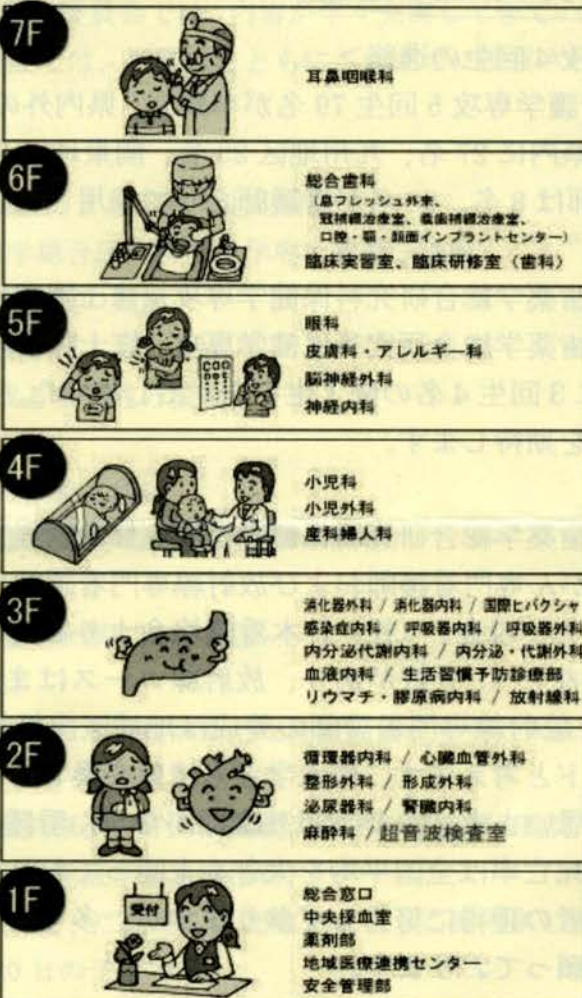


LED照明や高効率の空調機など最新のシステムを導入して省エネルギーに努めています。

平成22年度長崎看護学同窓会理事

役職名	氏名	卒業回
名誉会長	加藤奈智子	看学2
会長	下田 澄江	看学20
副会長	浦田 秀子	看学21
	勝野久美子	看学27
書記	高橋 眞弓	看学25
	中尾理恵子	医短3
会計	田邊 裕子	看学23
	石田紀代美	看学32
監査	土屋 滋子	看学13
	田添 京子	看学22
学外理事	吉田 恵子	保健学科1
	橋村 洋子	看学14
	荒木 宣代	看学10
	平湯 路子	看学6
	鶴嶋 葉子	看学7
	竹田 茂子	看学8
	山口 則子	看学15
	久松千鶴香	看学26
学内理事	森藤香奈子	医短10
	福田 昌恵	看学34
	中村千代美	看学36
	本 友恵	保健学科1
	張川 恭子	医短10

各階配置図



歯科の一部が6Fになります
医科・歯科をご利用の際は
移動が楽になります。



3Fまではエスカレーターにての
移動が可能になります。



1F エスカレーター

移動が困難な方が多い整形外科・
形成外科を低層にすることで、患
者さんの負担を軽減します。

中央採血室が1Fになります

編集後記：毎年のことながらお伝えしたい事が多く、盛り沢山の同窓会便りとなりました。この便りを通じて皆様へ、同窓会活動をお伝えできればと願っています。 張川恭子(医短10)